## 令和3年度八丈町立大賀郷小学校 授業改善プラン 第2学年

	教科における課題	身に付けさせたい力	課題を解決するための取組(○)
	(□)	$(\cdot)$	授業改善策(☆)
国語	□コミュニケーション 能力の育成	・話す力、聞く力	<ul><li>○正しい姿勢を教え、話をしている人の方を見て最後まで間き、内容のだいたいを理解できるよう指導する。</li><li>☆小集団での話合を頻繁に計画し、友達の話は最後まで聞くこと、自分が話すには順番を守ることの指導を徹底する。</li></ul>
	□読む力の伸長	・音読する力	<ul> <li>する。</li> <li>☆話型を提示し、話すことが難しい児童も話型に沿って話ができるようにする。(含朝の会、帰りの会)</li> <li>○どの教科においても、声に出して読む時間を設ける。</li> <li>○家庭と協力し、音読の宿題を日常の課題とする。</li> <li>☆練習問題の音読を行う。</li> <li>○図書、朝読書、読み聞かせを継続し、本が好きになるよ</li> </ul>
	□文章表現力の育成	・文章を書く力	うに親しませる。 ○文の基本的な書き方を定着させる。文を書くことに親しませ、書くことへの抵抗感をなくす。 ☆時の流れによる順序を意識させ、順序に沿って短文を作
	□漢字の定着	・漢字を正しく覚え、 活用する力	成させ、それを合わせて作文とする活動を行う。 ○ドリル→ノート→小テストのサイクルで 反復練習に取り組ませる。(単元ごと) ☆大賀郷タイムを活用し、確認テストを行う。 ☆授業の始めに、新出漢字を2文字ずつ習得し、継続して
生活	□興味関心を高める	・関心、意欲	学ぶ姿勢を身に付けさせる。  ○身近な自然、地域、人の様子などに関心をもち、すすんで活動できるようにする。  ☆地域の自然や関係する団体等に協力をいただき、体験
	□体験活動の充実	・体験活動を通した気 付き	的な学習を取り入れ、日常生活に結び付ける。 ○授業のめあての意識付けを行う。 ☆体験活動のまとめの場を設定し、めあてが意識できてい
	□生活力の育成	・生活力 (道具を使う 力や観察力など)	たかを確認する。 ○工作活動の機会を増やす。 ☆はさみ、のり、パス等の道具に触れる機会を設け、手作業に慣れさせる。 ☆触覚、視覚、嗅覚、聴覚を用いた観察を行う。 ○気付いたことや発見したことをまとめ、発表する機会を設ける。
算数	□数の概念の定着	・数を理解する力	<ul> <li>○数ブロックや数カードを活用する。</li> <li>☆具体物を操作する活動や数える活動、生活に応用できる活動を多く設定する。</li> <li>☆文章問題を繰り返し読むことや簡単な絵に表すことで、問題の読み取りを支援する。</li> <li>☆ティーム・ティーチングや少人数指導を行う。</li> </ul>
	□算数的活動の充実	・問題を読み取り、自 分で解決する力	○単元ごとに習熟の時間をとる。

	□基礎・基本の定着	・計算力	○大賀郷タイムなどで計算の時間を設定する。
	□坐蜒 坐牛*/足有	п <del>л</del> Д	○八頁為フィスなこと計弁の時間と設定する。   ☆単元で学習した新しい技能や知識を定着させるため
			に、プリントやドリルを反復して行う。
			☆二桁の加法・減法、かけ算九九を中心に反復する。
			<ul><li>※一州の加伝・減伝、かり昇九九を中心に及復する。</li><li>☆かけ算九九カードなどを活用する。</li></ul>
	ロキャンチャナウ	2.4.4.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.	
図工	□表現活動の充実 	・発想を広げ、表現す	○導入で自由な発想を得られるように、提示の仕方をエ
		る力	夫する。
	□基礎的な知識・技	・クレヨン、水彩絵の	○いろいろな表現方法が体験できるように指導計画を見 
	能の育成	具などの道具の使	直す。
		い方	○自由に発想をし、ふくらませるような雰囲気作りをする。
			☆児童のつぶやきを大事にした机間指導を行う。
			☆教科書や掲示資料を提示し、のりやはさみ、カッター、絵
			の具などの使い方を指導する。
			○クレヨンや水彩絵の具の基本的な使い方を身に付けら
			れるようにする。
			☆Ⅰ学期中にクレヨンでのスクラッチや絵の具での色水作
			りを行えるようにする。
			☆2学期以降は水彩絵の具を使う活動を通して、水の量
			の調整の仕方などを身に付けられるようにする。
音楽	□音楽の仕組みを生	・音楽を形作っている	○音楽を形作っている要素の働きを感じ取りやすく、楽し
	かした音楽づくり	要素や音楽の仕組	みやすい楽曲を教材に選択する。
		みを聴き取る力	☆鑑賞と表現活動を関連付けた題材構成とする。
体育	□意欲的に取り組む	・めあてに向かって運	○楽しく運動するためには、安全であることや、協力するこ
	態度の育成	動する力	とが必要なことを理解させる。
			☆みんなで規則を考えることで、規則を理解し、規則を守
			って安全に運動しようとする態度を育成する。
	□体力の向上	・走る力・跳ぶ力・投	○運動に取り組む時間が長くなるよう、学習計画を立て
		げる力を中心とし	る。
		た体力	☆各授業のルーティーンを作り、無駄なく運動が行われる
			ような授業づくりを行う。
	□技術の向上	・友達との連携する楽	○発達段階に応じた動きを身に付けるようにする。
		しさ	☆易しいいろいろな動きを経験させる。
			☆安心して(恐怖感を覚えないような)扱える教具を使用
			し、運動への取組を促進する。